



「天災は忘れた頃にやってくる」。一度は聞いた事のある言葉でしょう。これは、明治・大正の科学者寺田寅彦氏が関東大震災の後、残したと言われる有名な警句です。忘れた頃にやってくる自然災害から、完全に身を守ることは非常に難しいことですが、自分や家族の命は自らで守ること（自助）、近隣が互いに助け合って地域を守ること（共助）により被害を最小限にすることができます。日頃から、いざというときに備え、災害時の対応などを家族で話し合みましょう。

①防災情報への知識を持ちましょう

災害から身を守るための第一歩は、自ら積極的に情報を収集することです。テレビ、ラジオ、携帯電話、インターネットなどにより、「気象」、「河川の水位」などの情報を収集し、内容を理解するようにしましょう。

◇気象庁等の発表する気象に関する予報・警報について

気象情報	警報や注意報に先立って注意を呼びかけたり、警報や注意報の内容を補完したりするため発表
注意報	災害が発生するおそれがあるときに発表
警報	重大な災害が発生するおそれがあるときに発表
特別警報	警報の発表基準をはるかに超える災害が発生するおそれがあるときに発表
土砂災害警戒情報	大雨警報が発表されている状況で、土砂災害発生危険度がさらに高まったときに発表

◇北海道防災情報のメール配信登録について

「気象情報」、「避難情報」、「指定河川洪水情報」などの情報が発令されたときなど、災害の危険が迫っていることを素早く知らせてくれます。いち早く情報を入手するために有効な手段ですので、積極的に登録しましょう。

下記 URL および QR コードからメール配信登録を行うことができます。

- ・携帯電話版 URL : <http://i.bousai-hokkaido.jp/>
- ・パソコン版 URL : <http://www.bousai-hokkaido.jp/>

携帯電話版 QR コード

●メール配信登録方法

登録・解除選択⇒地域グループ選択⇒配信地区・配信条件選択⇒パスワード設定
⇒登録内容確認⇒登録完了



◇地上デジタルテレビの防災情報について

大雨のときなどに上流の河川の水位情報を地上デジタルテレビで確認することができます。

●防災情報確認方法

「NHK（チャンネル3）」を選択⇒リモコンの「d ボタン」を選択⇒「防災・生活情報」を選択
⇒「河川水位情報」や「避難情報」を確認



②日頃から備えましょう

◇避難場所や避難所への経路を確認する

地震の場合は、がけ崩れや家屋・壁の倒壊または火災など、水害の場合は浸水などにより、いつも使う道路が通行できるとは限りません。また、災害時は、停電している場合が多く、暗闇の中を避難しなくてはなりません。

避難経路は、広くて安全な経路を選ぶとともに、昼間・夜間それぞれ実際に歩いてみましょう。

◇避難情報の意味を理解する

避難情報の種類等	皆さんに求める行動
避難準備情報 人的被害の発生する可能性が高まった状況	高齢者や障がい者などの避難に時間を要する方は避難を開始してください。それ以外の方は、家族との連絡や非常用持ち出し品の用意など、避難準備を開始してください。
避難勧告 人的被害の発生する可能性が明らかに高まった状況	通常の避難行動ができる方は、計画された避難場所等への避難を開始してください。
避難指示 人的被害の発生する危険性が非常に高いと判断された状況	避難中の方は直ちに確実な避難行動を完了してください。避難していない方は直ちに避難してください。避難する余裕がなければ、命を守る最低限の行動をとりましょう。

◇非常備蓄品を準備する

貴重品のほか、非常食（缶詰・乾パン等）、水（1人1日3リットル）、応急医薬品（ばんそうこうなどの常備薬）などを準備しましょう。非常備蓄品は、家族構成や季節によって異なります。また、非常食は、食べずに長期間保存するのではなく、レトルト食品や缶詰、乾麺など、普段購入している保存性の良い食料品を少し多めに「買い置き」し、定期的に食べて、食べた分を買い足し備蓄していく方法であるローリングストック法をおすすめします。消費期限切れを防止するとともに災害のときにも食べ慣れた非常食を食べることが可能です。

◇家族との連絡方法を確認する

災害発生時は、電話がつながりにくくなります。家族の連絡先・連絡方法を確認しましょう。また、災害用伝言ダイヤルを活用しましょう。

■災害用伝言ダイヤルの使用方法

- ① 171 をダイヤルします。
- ② ガイダンスに従って、録音の場合は1を、再生の場合は2をダイヤルします。
（暗証番号を付けて録音・再生を行うこともできます。）
- ③ ガイダンスに従って、自宅（被災地）の電話番号、または、連絡をとりたい被災地の方の電話番号を市外局番からダイヤルします。
- ④ 伝言を録音・再生することができます。



◇地震へ備える

地震は、いどこで起きるかわかりません。また、こうすれば絶対助かるという方法は存在しませんが、「命を守る」「けがをしない」ための環境づくりが地震対策の第一歩です。東京消防庁の調査では地震による負傷の原因は、約30～50%が家具類の転倒・落下によるものです。けがをしないためにも、家具類の転倒・落下・移動防止策を行いましょう。

◇大雨へ備える

水害は、地震などと違い、防災情報の収集等によりある程度事前に予測することができます。積極的に情報を収集することが大切です。そしてなによりも大切なのは、「大雨が予想される」などという情報を聞いたとき、どれだけ「災害」を意識するかです。普段と雨の降り方が違うなどの「異変」を察知したときは、避難行動や被害軽減のための準備をしましょう。

◇防災訓練に参加する

市が実施する地域防災訓練に積極的に参加し、いざ災害というときに、スムーズな行動がとれるよう訓練をするとともに近所の方々との連携を深め、地域の防災力を向上させましょう。

平成 28 年度地域防災訓練

◇とき 10月16日(日) ◇ところ 北光小学校

災害時の避難場所および避難所一覧

避難所は、災害の規模や範囲、被災状況を考慮して市施設に開設します。いざというときに速やかに避難できるよう、日頃から自宅や勤務先周辺の避難所を確認しておきましょう。



※ 洪水時は一部避難所（×印）が変更となりますので、下表をご覧ください

	避難場所	避難所	避難町内会	地震などの場合	洪水時
①	空知太小学校 グラウンド	空知太小学校 ⑤③ 3 0 7 7	富平、あかね団地、空知太第 1、空知太すみれ	○	○
②	石山中学校 グラウンド	石山中学校 ⑤③ 3 2 4 8	空知太第 5、新石山団地、石山団地、北光第 3	○	○
③	北光小学校 グラウンド	北光小学校 ⑤② 6 1 4 1	北光第 1 の一部（パンケ歌志内川から北地区）、北光第 4、北光第 5、北光第 6、北光団地、一の沢	○	○
④	中央小学校 グラウンド	中央小学校 ⑤② 2 9 6 5	焼山第 1、焼山第 2、東雲、焼山第 4、東晴見、晴見、新晴見、吉野第 1、吉野第 2、吉野第 6、吉葉	○	×
⑤	海洋センター横 公園および駐車場	海洋センター ⑤② 4 8 0 9	北光第 1 の一部（パンケ歌志内川から南地区）、北光第 2、共親、禄軒、若葉、のぞみ	○	×
⑥	公民館駐車場	公民館 ⑤② 2 3 3 9	千歳第 1、千歳第 2、正和、共栄、相和、睦親、舟場、栄町	○	×
⑦	地域交流センター ゆう 駐車場	地域交流センターゆう ⑤④ 3 1 1 1	一心、親友、東和、大昭、十八日、駅前、北吉野西町、北吉野南町、三砂	○	○
⑧	砂川中学校 グラウンド	砂川中学校 ⑤② 4 2 0 4	鶉第 1、宮下元町、宮下第 1、宮下第 2、宮城の沢、吉野ニュータウン、友和、親栄、東幸、山の手、東町、緑ヶ丘、南吉野団地、若草	○	○
⑨	総合体育館前公園	総合体育館 ⑤④ 2 1 7 5	吉野第 3、南風、新町、泉町、南日の出、新日の出	○	○
⑩	砂川小学校 グラウンド	砂川小学校 ⑤② 4 2 0 7	寺町、月見丘、曙、花園、朝日、宮川、豊沼第 3、豊沼第 4、豊沼第 5	○	○
⑪	豊沼小学校 グラウンド	豊沼小学校 ⑤② 3 0 4 2	宮川中央団地、新宮川、親宮、豊栄、豊沼第 1、豊沼第 2、豊沼第 6、豊沼第 8、北電社宅、北洋社宅	○	○

洪水時には、下記町内会の地域に浸水する可能性が高いとされ、避難所である中央小学校、海洋センター、公民館への避難ができなくなります。このため、避難所が変更となりますので、注意してください。

洪水時に避難所が変更となる町内会	避難場所	避難所
北光第 1 の一部（パンケ歌志内川から南地区）、北光第 2（砂川橋の状況次第では市外への避難）	北光小学校グラウンド	北光小学校
東雲、共親、禄軒、若葉、千歳第 1、千歳第 2、のぞみ	地域交流センターゆう 駐車場	地域交流センターゆう
睦親	砂川中学校グラウンド	砂川中学校
正和、共栄、相和、舟場、栄町	砂川小学校グラウンド	砂川小学校

【お問い合わせ】 防災対策係⑤④ 2 1 2 1